

早急に「油木高校の魅力づくり」支援策を検討していきます！

下の表からも分かるように、本年度の油木高校入学者は2学科ともに半数を少し超えた人数で、今後、中学校卒業生が減少傾向となるため、定員確保が大変厳しい状況にあります。

そこで、神石高原町連携型中高一貫教育支援会議(会長・神石高原町長)では、生徒の確保につながるような「油木高校の魅力づくり」の支援策を早急に検討していきます。

地元の子は地元で育てられるように、持続可能な教育システム確保のために全力で取り組みます。町民のみなさんのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

学科名	定員	入学者数	入学率
普通	40	22(2)	0.55
産業ビジネス	40	23(9)	0.58

* ()内の人数は、町外中学校からの入学者数

統合中学校：平成26年度開校を決定！

神石高原町教育委員会では、昨年11月から油木、神石、豊松地区で行ってきた「新しい学校配置方針」の説明会を通じて、概ね地域住民の理解が得られたものと判断し、3月定例会教育委員会にて平成26年度に統合中学校の開校を決定しました。

平成24・25年の2年間で、統合中学校の名称や校舎の建築など開校に向けて具体的な取り組みを行っていくことを確認しました。当面、24年度では、校舎の設計や教育内容(油木高校との連携型中高一貫教育が充実するような教育課程編成など)の検討などを行っていく予定です。

住民のみなさんのご意見をお寄せください。



人と自然が輝く高原のまち 新しい町づくりに向けて 集落支援員活動だより

We will have to hope with future!

神石高原町集落支援員 (総括) 高原 敬二

3年間の活動から

私が、集落支援員の委嘱をうけてから3年が経過します。当初2年間は集落支援員10人で「49の集落」を対象として五里霧中の中、維持・再生に奔走してきました。昨年からは地域おこし協力隊の2名が加わりました。直近の1年間は、対象を「26の地域(自治振興会)」に広げ集落支援員31名、地域おこし協力隊2名と役割担当者がトライアングルを形成し、未来に希望を持って地域の維持・再生に取り組んでいる最中です。現在、対象自治振興



会内に当該地域担当の集落支援員さんがコーディネートする地域の維持・再生へ向けて話し合いのための組織作りが進行しています。平成23年度中には組織作りが完了する予定でしたが、それぞれ地域の事情もあって若干の遅延が見受けられます。これらの組織を核として自治振興会全体へ、さらに神石高原町全体へと波及・展開して、中山間地域の集落・地域の維持・再生がなされることをめざしています。



宇宙全体が絶対温度0k(マイナス273・15℃)になって分子の運動が止まらない限り未来はあります。今日より明日のほうが悪くなる今日ですが、中国の故事に「天莫空勾銭時非無范蠡」という故知があります。「これは未来に希望を持つとう、諦めるな」ということですが、思想的には他力本願(范蠡さんが頼り)です。町民の皆さんどうか私達と一緒に自力本願(自力)で未来に希望を持って進んでいこうではありませんか。

不動産公売会を実施します！

町では、入札による不動産公売会を実施します。

- 公売日時：6月6日(水) 受付 午前10時～ 入札 午前10時20分～
- 場所：三和公民館 1階会議室
- 公売対象不動産

売却区分	財産の表示・見積価格・公売保証金額
24-1	<ul style="list-style-type: none"> 神石高原町笹尾字妙楽寺谷マカリ前道ウヘ 1282 番 3 畑 33㎡ 神石高原町笹尾字妙楽寺谷マカリ前畠 1284 番 畑 1,804㎡ 神石高原町笹尾字妙楽寺谷マカリ家ノ後 1285 番 1 畑 1,084㎡ 見積価格 70,000 円 (公売保証金額 7,000 円) <p>※公売面積は登記簿面積のため、地籍調査により面積の変更が生じますので、あらかじめご了解ください。(3筆が合筆され 1,958㎡となる予定)</p>

※入札へ参加するためには、神石高原町農業委員会が発行する「農地法第3条第1項目的の買受適格証明証」が必要ですので、5月10日(木)までに神石高原町農業委員会へ申請してください。

●お問い合わせ先 住民課収納係 ☎89・3334

「帝釈峡の魅力創出研修会」が開催されました！

3月15日(木)、帝釈峡広域観光プロジェクト推進実行委員会の主催による「帝釈峡の魅力創出研修会」が、三和公民館で開催されました。

講演会には、滋賀県長浜まちづくり株式会社 理事 吉井茂人さんを講師に招き、「長浜のまちづくりと推進組織の作り方」の演題で、空き家を活用して街を活性化する手法や、まちづくりを推進する組織の作り方についてお話されました。参加された約40名の方は、熱のこもった講演に聞き入られていました。この実行委員会は、県の補助事業を受けて帝釈峡の観光振興を推進するため、昨年6月に庄原市と神石高原町や、その市町の観光関連団体等で設立され、イメージの向上と情報発信、滞在型観光の推進等に取り組まれています。



講師の吉井茂人さん

「もったいない」その気持ちが大切です！

日本では、まだ食べられる食品の約4割が捨てられているという調査結果があります。「気が付いたら冷蔵庫の中で賞味期限が切れてしまった」、「作りすぎて、食べ残してしまった」みなさんもそのような経験がありませんか？

買すぎない、作りすぎないことが、無駄を減らすために大切です。食べ物はさまざまな人が心を込めて作られています。作られた方に感謝をして食べましょう。

みなさんのお家の冷蔵庫に「もったいない」食品はありませんか？



神石高原町食育推進ネットワーク協議会 地産地消部会